

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

平成28年 7月20日に不適合管理会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	3号機	高経年化技術評価書(平成27年6月10日認可)において、原子炉圧力容器内上部格子板靱性低下評価の評価値に記載誤り(条件の異なる評価値を記載)が認められたため、原因調査・対応検討。なお、本来の評価条件に基づく計算結果は許容値を満足していることを確認。	G II	
2	4号機	復水補給水系復水移送ポンプ(A)入口圧力計において、指示値不良(指示針引掛かりによる指示値のずれ)が認められたため、当該圧力計を点検・修理。	G III	
3	1・2号廃棄物処理設備	換気空調系廃棄物処理建屋冷凍機(A)冷媒凝縮温度計の交換作業において、取付けられていた当該温度計感温部の寸法が計器仕様表に記載の寸法と相違(計器仕様表の誤り)があることが認められたため、当該原因調査。	G III	